

## 令和7年度特色ある学校づくり推進事業報告書

### 1 テーマ

令和時代を生き抜く藤中生の育成  
地域に貢献し、地域とともに活動する藤中生

### 2 ねらい

- 学校・地域のボランティア活動を通して、環境美化・保護に努めようとする意欲を高める。
- 花を育てることにより、命の大切さを感じ、美しい環境と豊かな心を育てるとともに、学校・地域を花でいっぱいできるように、地域に根ざし、地域に貢献できる活動を展開する。
- 「フジバカマ花壇の整備」「藤棚の管理」などを実施することで、地域との交流を深め、地域を愛する心を育てる。また、地域の教育力を学校教育に生かす活動を企画・実施する。
- 生徒が心豊かに健やかな学校生活を行えるよう心の相談員を配置するとともに、校内はあとラウンジの環境整備を継続する。

### 3 活動内容

- 地域学校共働本部を通して、「地域で活躍する人の話を聞く会」や「職場見学」などを行うことで、地域住民の力を学校教育に積極的に取り入れる。
- 各種活動状況を、学校だよりやホームページを通じて地域に発信する。
- 在校生徒が花を感じられる場所で、植え替えや管理を行う。(年間)
- 地域の方々の経験や知見を参考にした藤の剪定
- ~~○ 総合的な学習の時間に取り組む「フジバカマとアサギマダラの保護育成活動」  
(年間)~~
- 卒業式に向けた花のある行事づくり(2～3月)
- 生徒ボランティアによる環境整備を行う。
- 校内はあとラウンジの環境を整える。
- 校内に自生するササユリを保護する。

## 4 成果と課題

### (1) 成果

- ・学校花壇の手入れやチューリップの球根植えを通して、生命の尊さと自然の豊かさなどを感じながら、生徒が自ら校内の美しい環境づくりを行っている。
- ・自主的に、地域ボランティア活動や校内ボランティア活動に取り組む生徒が多い。地域振興や環境美化に関心をもつ生徒が増えてきた。
- ・「地域学校共働本部」が地域と学校をつないでくれている。「地域講師の話を聞く会」「地域の人と交流する会」など、地域の力を借りて生徒が学ぶ機会を設定している。
- ・今年度、生徒の意見を取り入れて、生徒がデザインする花壇をつくった。委員会が全校に呼び掛けて、デザインを生徒から公募し、採用された絵柄にそって、生徒が花苗を植えた。昼休みや下校時に花壇を眺める生徒がおり、自分たちのアイデアが形になることで、生徒の関心が高まったといえる。冬場で花壇が寂しくなる時期に実施したので、花苗の種類が少なくなる季節に工夫を加えることができた。

### (2) 課題

- ・今年度、夏の猛暑により本校が守ってきたフジバカマが枯れた。それにともないアサギマダラも来訪しなかった。生徒はフジバカマによって来訪するアサギマダラを本校ならではの美しい自然と捉えているので、委員会活動などにより、継続的に生徒が見守っていけるような取り組みを入れたい。
- ・地域の人材の高齢化により、山間部の本校においては、地域の人材の協力を得てきた活動が、見直しを迫られている分野も出てきている。地域に何かをしてもらうというよりも、中学生が地域に何かできないだろうかということが山間部の学校が直面している実態だと感じる。

## 5 保護者・地域への情報発信の取組実績

- ・学校便りやHPなどに掲載し、保護者、地域の方々に情報提供を行った。

学校ホームページにて

2025年10月30日 地域の方に学ぶ会

2026年 1月30日 生徒がデザインを考えた花壇